

## 令和5年度第2回国有林モニターアンケート（結果概要）

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様のご意見やご感想を適確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和6年2月に、令和5年度第2回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートにご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

### ○アンケートの実施概要

発送 : 令和6年2月22日  
回答期限 : 令和6年3月15日  
回答率 : 74% (47人中35人)

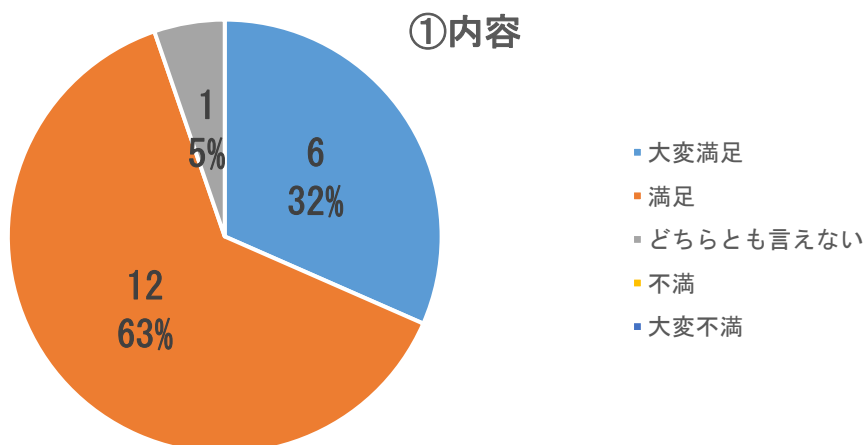
国有林モニター制度とは、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、広報やパンフレットで情報提供を行うとともに、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

現在、令和4年4月～令和6年3月の2年間を任期として、管内5県の47名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

## 1 モニター会議について（参加者のみ）

令和6年2月22日に令和5年度国有林モニター会議を開催し、19名の方に御参加いただきました。

### （1）モニター会議の内容について教えてください。



#### 【理由】

##### 大変満足

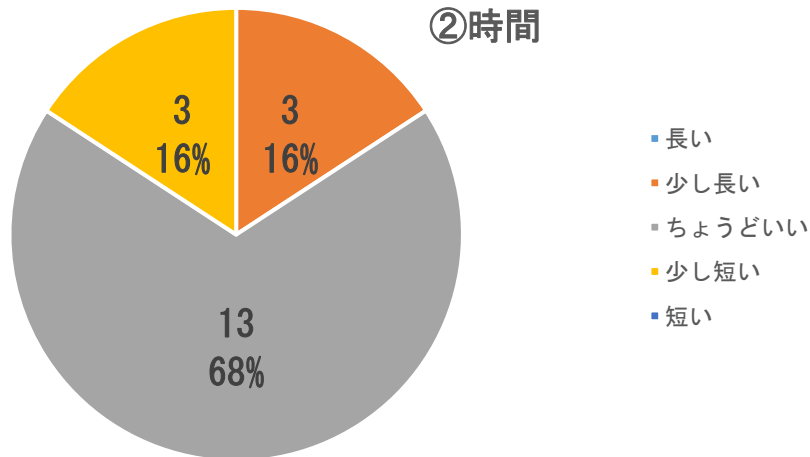
- ・ 国が森林を守る、木を売る、税金を元に経営するといった内容を細かに見ることが出来た。モニターになる方々も様々な考えの方がいらっしやると感じた。自分も少しの山を所有しているが、山を守ろうと思えた。
- ・ お互いの居住地、氏名、顔が確認でき、話をしやすかった。
- ・ 色々な立場、経験者の森林事業に関する考え、意見を聞くことができた。

##### 満足

- ・ 同県の方達と初めて落ち着いて交流を深める機会を持て良かった。
- ・ モニターの参加の動機含め、出席者の意見、森林にかける想いを共有できた。
- ・ 最近はオンライン会議等が主流ですが、直接会って話を聞くことにより、より親近感が増すので良いと思った。
- ・ 発言の時間が確保されており、概ね満足できる内容でした。欲を言えば、もう30分程度長ければ、時間を気にせず討論に参加できたと思う。
- ・ 現地見学会に参加して勉強になったお話や各県の現状を知ることができて大変勉強になった。

##### どちらとも言えない

- ・ 管理局の業務内容説明、質問への回答は、文書でもいい。せっかく対面できるので、グループでの意見交換、全体会議の様な構成もありかと思う。



## (2) モニター会議に対する御意見・御感想

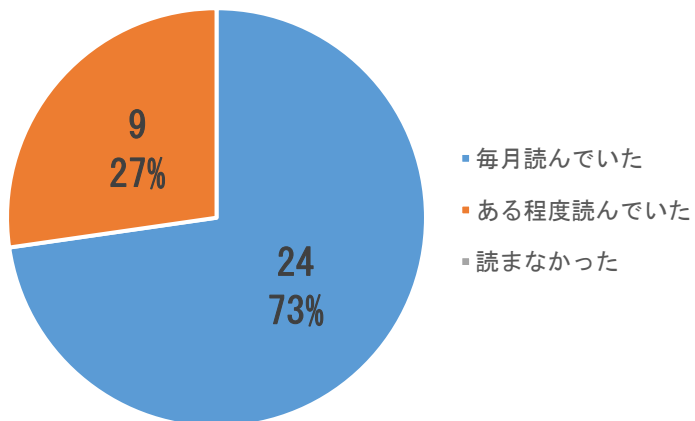
- ・ 意見交換は、テーマがあれば、より活発な発言が期待できたと思う。
- ・ モニター会議で提案された意見が、その後どのような扱いになったかを知りたい。
- ・ 会議に出席すると時間が足りないという事が多いので、事前に「東北森林局の概要及び取り組み」を参加者に送付して時間に余裕がほしい。説明する方は業務について理解しているので自分ペースで少し速いように思った。2月開催は列車運行関係上考慮してほしい。
- ・ 他のモニターの方々がどうしてモニターになったのかなど、知ることが出来て興味深かった。
- ・ モニターの初年度にモニター会議を開催してもよいと思った。
- ・ コロナを始めとする感染症対策の都合上仕方ない点もあると思うが、任期スタートした早い段階で今回のような会議があれば参加者同士の交流が増し、引いてはモニター内容の理解や国有林野事業への関心も深まると思った。
- ・ 意見、質問がありそうな人が多かったので、時間が足りなかったのでは。
- ・ 色々な職種の経歴のある方々の意見を聞く場となり、多くの方の「蔵王のアオモリトドマツの枯れが印象的であった、百聞は一見にしかず」との言葉に、その通りだと思った。
- ・ 事前の質問事項に対する回答をプリントされていると分かりやすかった。
- ・ 人の健康にかかわる花粉の木について今の現状を聞きたかったが、時間的に聞けなかった。
- ・ 午前中にやってほしい。
- ・ ラベルワークがあっても良いのではないか。
- ・ 今回は仕事の都合でほぼ参加出来ず、残念。時間が合えばすべて見たかった。

## 2 毎月の送付資料について

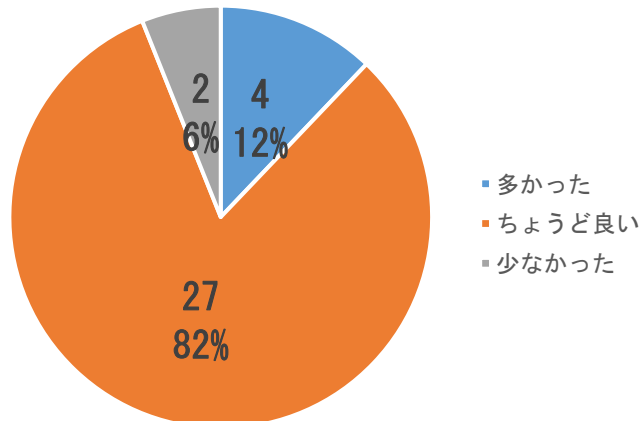
(1) 毎月お送りしている資料について、ご意見をお聞かせください。

<今月の特集>

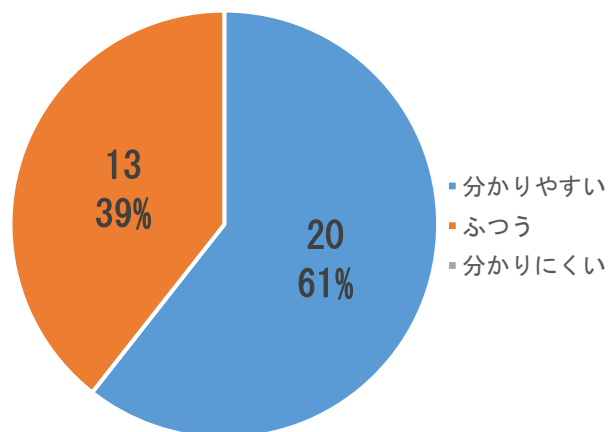
### 資料を読む頻度



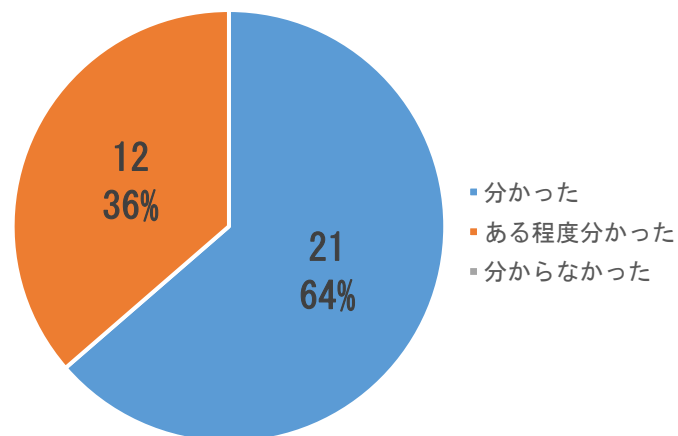
### 分量



### 内容の分かりやすさ

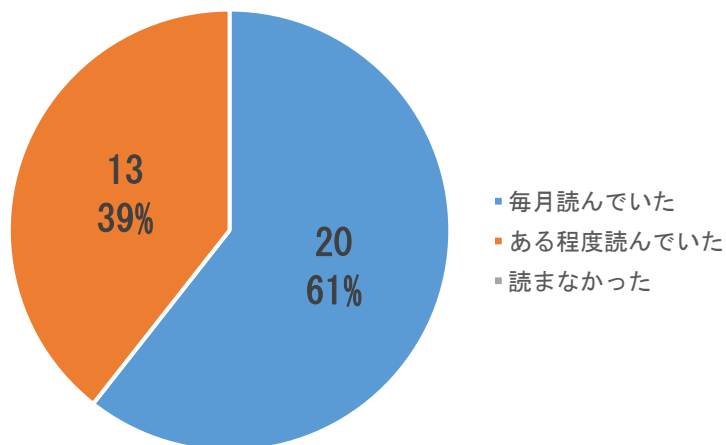


### 国有林の取組

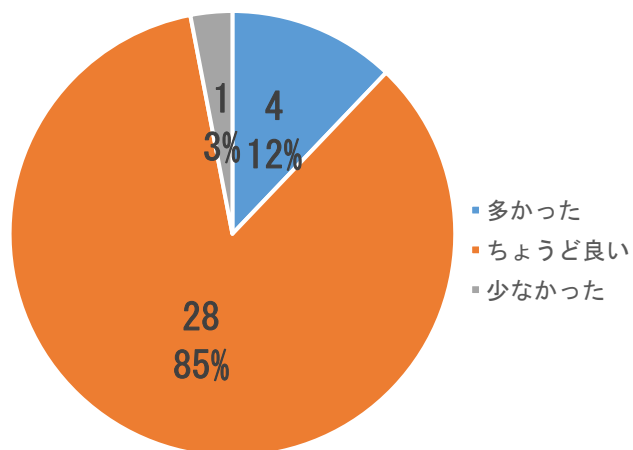


<質問への回答>

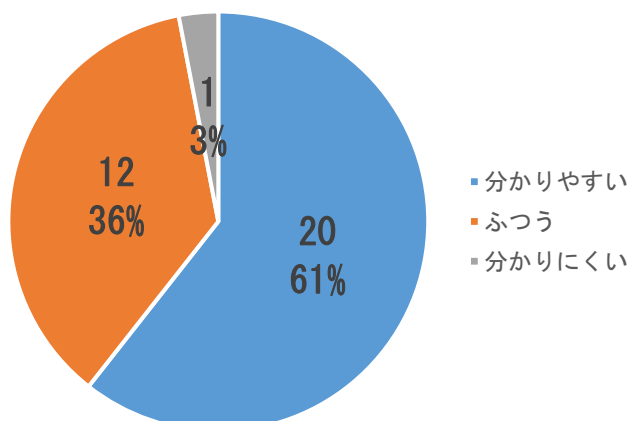
### 資料を読む頻度



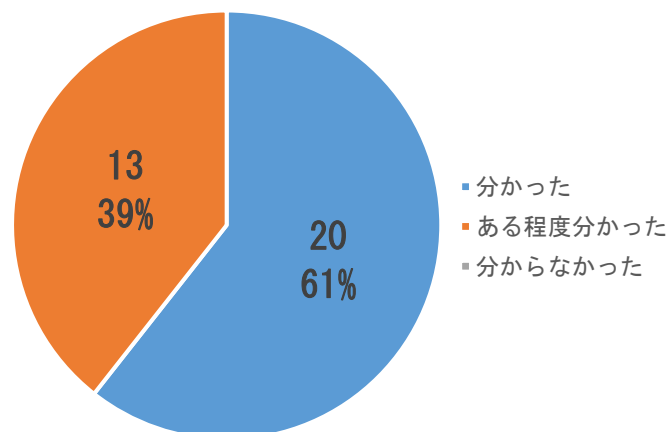
### 分量



## 内容の分かりやすさ



## 国有林の取組



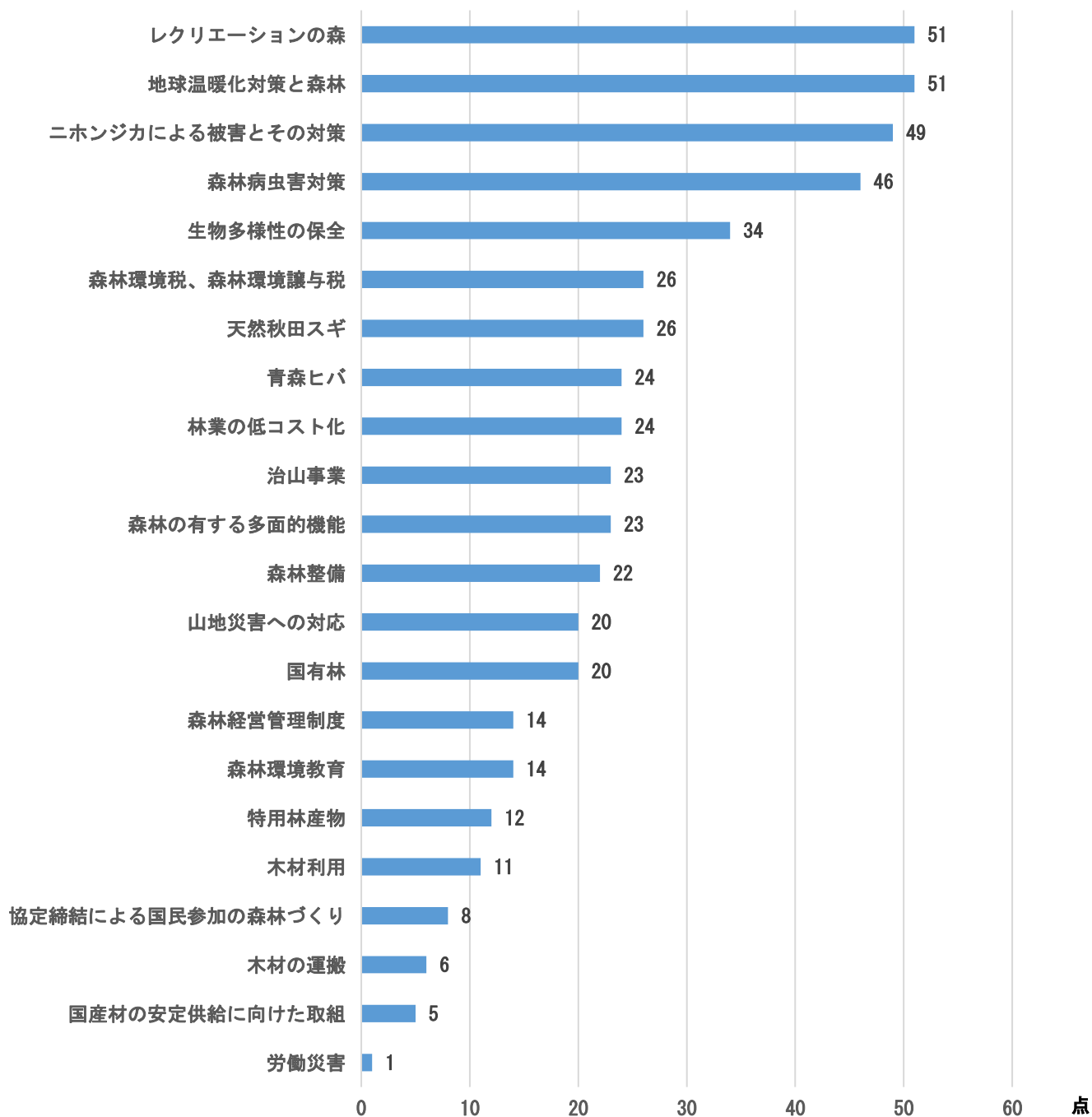
これまでの送付資料で、改善すべきだと思う点があれば教えてください。

- ・ モニターの必要性を取りいれてほしい。
- ・ 例えば、銘木（三大美林）が、東北（全国）、各地にあるとのことなので銘木の（三大美林）マップがあれば助かる。いっそのこと、銘木の（三大美林）マップの特別サイトを設けて、その場所に訪れた人が、大木に括り付けられたQRコードを読み込めば巨木の種類、樹齢の情報がみれるようにして、さらに感想、ランク付け（人気投票）も共有できれば、訪れた人にとってもより、励みになるし、訪れた人の中での繋がり共感を得られるのではないかと思う。
- ・ 専門用語が分かるような工夫が必要だと思う。
- ・ 素人にとっては難しい話が多かった。
- ・ 説明文が色分けされて大変見やすく、写真等カラーで分かりやすかった。
- ・ 今月の特集は、A4 の用紙に両面での情報だったが、もっと知りたいという時が多々あり、2 ページを4 ページくらいに増やしてほしい。
- ・ 読む資料が多いので、なかなかくまなくは読み込めていないが 興味のある部分や身近な森林管理署の話題は目を通すように心掛けている。専門的な部分に関しては興味が持てないところがあった。
- ・ 初心者の私にとっては、知らなかったことが多くて資料から色々と教えてもらった。みどりの東北が届くのが月末だが、最終ページに記載されているイベント情報の大半が過ぎているので、1 か月前のものに載せた方がいいのではないかと思う。情報誌林野は難しい言葉が多くて読みにくかった。

## (2)「今月の特集」のテーマについて教えてください。

### ①興味深かったテーマ順に5つ教えてください。

(1位=5点、2位=4点、3位=3点、4位=2点、5位=1点として点数化して集計)

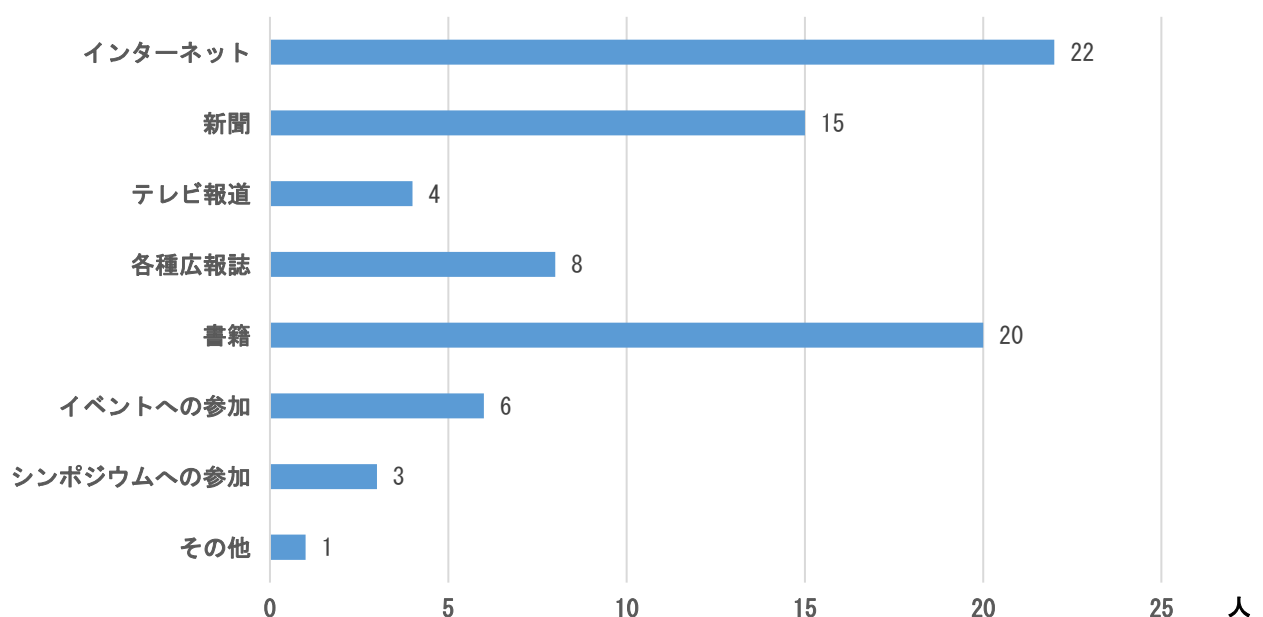


### ②特集を組んでほしかったテーマ

- ・ 里山の整備、100年の森。
- ・ 森林と触れ合うボランティア活動の現状と展望。
- ・ 青森県・岩手県の漆について。各県の特用林産物事業について。
- ・ 民間事業も含め、海外と比較した場合の、強み、弱み。

- ・ 木を使ったビル、高層建築を知りたいと思う。もっと国有林の木の流通が国内で活性化されると、民有林の木も経済的に良い方に引っ張られて山の経済が成り立つような例を紹介して欲しい。
- ・ 森林と河川の結びつき、そして河川と海の結びつき。
- ・ 熊・ニホンジカ・イノシシが与える森林への影響。
- ・ ドローンを活用した取り組み。
- ・ 林道のでき方、利用方法。
- ・ 学校教育における森林保護教育等の実例。
- ・ 改質リグニンの現状。
- ・ 林業の仕事について。
- ・ 健康に良い事をもっと知りたい。
- ・ 森林を守るために、一般の人が参加できるボランティア活動などを紹介してほしい。(そういうボランティア活動をしてみたい)
- ・ 花粉症なので、林野の1月号のテーマはベストマッチだった。後は熊や猪といった動物の生態と森林環境。私の住む地域では熊の出没や猪の農作物への被害があるため。
- ・ J-クレジットについて。
- ・ どのような目的でどのような種類の木をどんな場所に植えているのか知りたい。

**(3) 毎月の送付資料以外に、どのような方法で国有林に関する情報を得ていますか。  
(複数回答)**

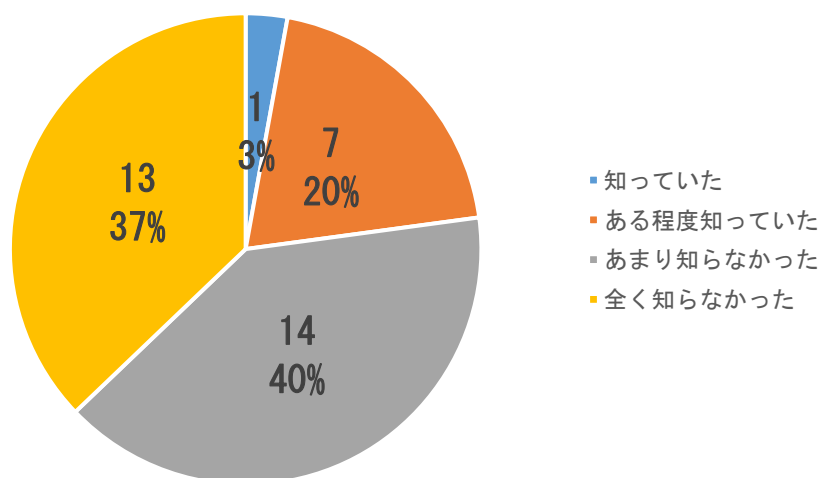


**【その他】**

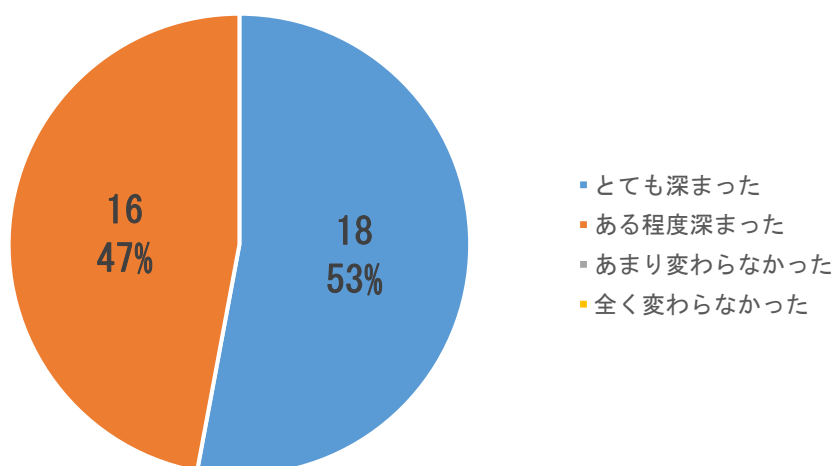
- ・ ほとんど得ていない

### 3 国有林モニターについて

(1) 国有林モニターになる前から、国有林の取組についてご存知でしたか。



(2) 国有林モニターになる前と比較し、国有林の取組に対する理解は深まりましたか。



#### 【理由】

- ・ モニターを自覚し、関心を持ち続けることができた。
- ・ 農業を通じ地球温暖化を強く感じている。環境再生のため、グリーンカーボンやブルーカーボン再生イベントに参加しているが、年数がとてもかかる。人間が利便性追求した結果だが、今後の国有林の取り組みに期待している。
- ・ 国有林の整備保全以外にも、治山事業に関しては、特に認識できていなかったが、今回のモニターの視察において現場を視察し、山地災害から国民の生命や財産を守れていることを認識できた。
- ・ 現地見学会に参加したことや担当者の説明等聞くことができたことから。
- ・ 送付される資料、現地見学会を通じて今までより国有林を身近に感じるようになった。
- ・ 百聞は一見に如かずと言う感じで国有林の抱える現状を目のあたりに出来たことは、自分事として捉えられるようになった。



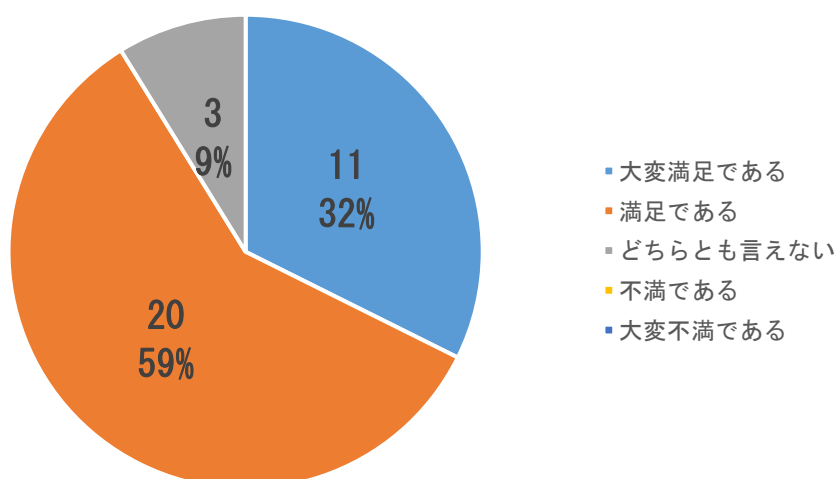
- ・ 治山から人材育成まで幅広い内容であることが理解できた。
- ・ 国有林を維持管理する取り組みを全く分かっていなかったことを痛感した。
- ・ 全てを理解できているとは思わないが、参加する前よりは国有林の大切さを知ることができた。
- ・ モニターになる前は、国有林についての知識は殆ど無く、日本には国有林と民有林（私有林）の2種類があるという事しか知らなかった。日本の国有林は、森林管理局によって大切に守り、維持されている事を知り、感動した。自分達が、気候変動等により、土砂災害等から守られているのは、そうした森林や山をしっかりと維持管理している職員や、携わる人達のおかげであると知った。山々に森林がある事で、二酸化炭素の削減になっている事、生物多様性が守られている事等、国有林に対する知識が大いに身に付いたから。
- ・ 配付資料は、モニターを経験しない限り入って来ない情報ばかりで、他のモニターの質問も共感できる内容が多く、回答を興味深く拝見していた。
- ・ 最新の機器を取り入れ、とても進歩している現状に驚いた。
- ・ 蔵王オオシラビソ被害林の再生に向けた播種試験の取り組み。2016年に発生したトドマツノキクイムシによる穿孔被害で、標高1600mより上が枯れ木となっている現状を、試験植樹の研究によって回復できればと思って今後も関心を持っている。
- ・ 国有林を守るため、また、国有林を利用しての様々な活動を想像以上の多方面において、森林管理局を始め、農林省が取り組んでいることを知り、とても興味が深まり、もっと、知りたいと思った。
- ・ 他の地域での森林活動の内容を知り得た要素が大きい。
- ・ 私の住んでいる所は山に囲まれていて、誰かの山なんだろうという感覚でしか見ていなかった。最近、木が伐採されて裸になっていくので心配していた。杉は花粉の少ない木に植え替えたり、山も環境に応じて変化していくことを知った。
- ・ 国有林をはじめとする山林の課題については少しは理解しているつもりだったが、山林保全への具体的取組みや新しい林業を目指して様々な努力をしている内容については、初めて知ることが多く、モニターを通じて理解を深めることが出来た。

### (3) 国有林の取組に対する要望・意見等

- ・ 採算を度外視して、取組を進めてもいいと思う。経済効率の追求は、民間の事業者任せ、長いスパンで。
- ・ 勤務先が1963年に「国有林を見直そう」の通年企画で日本新聞協会賞を受賞した。青森から発信した小さな波が全国に広がり、法改正に至った。当時の週刊文春は地方の小さな新聞社の大きな業績と評していただいた。
- ・ 今後、国からの予算配分が難しいと思うので、農業や魚業等関係者との関係性が課題。
- ・ 2月22日の意見交換の席でも、モニター参観の背景、キッカケは、様々。今後、過去のモニター参加者を対象に、テーマ別に参加できる分科会もあっても良いかなと思う。そこで少し踏み込んだ、意見交換が出来ればと思う。また、継続した積み重ねが、大きなパワーにつながる場合があると言われているので、是非、過去のモニターとの繋がりも絶えないようにしていただければ、何か良いことがあると信じている。
- ・ 継続的に参加できるような取組み（例：国有林に親しむ会や国有林ボランティア

- アクラブ等)をして欲しい。
- ・ 森林産業との共生が大事。固有種の動植物は宝物だと思う。東北の森が害虫や食害でつぶれるのは残念。
  - ・ 自然環境を教育の場でもっと発信して欲しいと思う。
  - ・ 国有林の有する重要な機能をもっと国民にアピールしてもらいたい。治山・治水・CO2の吸収など、他にも様々な役割を担っている国有林に期待する。
  - ・ 個人的な意見としては「人材育成」や「国民の意識向上」に関してもっと予算を投じるべきと考える。ハード面に関しては、使った金額の分の見返り(効果)があるが、ソフト面について言えば、使った金額の何倍もの効果が期待出来るから。時間がかかり、数値化できないので費用対効果が少ないと見られがちだが、その見方、考え方を改めない限り、「前年並み」の事業を繰り返すことになる。
  - ・ ボランティアを募り、幅広い年齢層に国有林に触れる機会を提供することも有意義と考える。
  - ・ 今、若者で心身症になる人が増えており、働けなく生活保護を受ける人もいると聞く。自然は人を癒やす力があると思うので、そういう人たちを林業で受け入れ、働きながら山で遊び、健康になり、合っていたら生業にしてもらい林業を学んだ人だけでなく携わっていく方法があればと思う。
  - ・ 蔵王の現状をより多くの方に知ってもらうため、「蔵王を守る」をテーマで、体験できる小規模イベントを開催して、ゴンドラで現状見学をし、小さいポットに移植苗を作る体験でも地元の小学生～高校生や、修学旅行の学生に体験イベントをする事で蔵王に愛着が湧き自分達が守ると大人になった時、大きな力で還元してくれると思う。
  - ・ 次世代を担う子供達への教育が重要だと思う。
  - ・ 国有林事業から民有林事業にどのような影響があるのか。良い意味で私有林の活用が増大するよう林野庁には期待している。
  - ・ 森林と健康についてもっと知りたい。
  - ・ 国民が知らない取り組みが沢山あることに気づかせられた。もっと、アピールすることを希望するので、国有林の入り口付近に、山での取組みを看板等で表示してはどうか。
  - ・ 能登半島の災害を目の当たりにして、災害時における取組はどうなっているのか興味がある。
  - ・ 環境の変化で動物の食料が無くて、最近ではシカ・熊達が人里にやってくる。奥地に動物達の食料を育てられないか。
  - ・ 林業に携わる人が増えていくように、新しい林業への取組をTVやネットを通して紹介して欲しい。アルバイトなどで仕事を経験出来るようにしておくのも良いと思う。

#### (4) 2年間を振り返って、国有林モニター活動はいかがでしたか。



#### (5) 現地見学会と会議への参加、国有林モニターアンケート以外に、国有林モニターとしてやってみたかった活動や、モニター活動の改善点があれば教えてください。

- ・ 身近な森林管理署で、見学・体験・意見交換の機会が欲しかった。
- ・ 森林管理業務の現場を直に見学できるのが魅力だった。何でも現場に行き、自分の目で見て、自分の頭で考える。大変役に立った。
- ・ 現地での植林、現地、視察結果での、懇親会、もしくは、質問形式からグループ分けによる意見交換会。
- ・ 広葉樹の森に関する見学会や巨樹巡り。
- ・ ドローンの撮影風景と画像を見てみたかった。
- ・ モニターに参加して興味や関心が増した人たちの「受け皿」となる次の事業を期待する。会議でも話したが、「国有林モニターOB会」みたいな集まりを企画してボランティア活動の機会を与えてみてはどうか。植林活動を一日行うだけでも、林業の大変さだけでなく、一次産業の本来の良さ（清々しさ、達成感、疲労感）を多くの人に拡げる強力なインフルエンサーになると思う。
- ・ 一週間ぐらいのボランティア&国有林モニター活動。1日ではわからないことを体験してみたい。
- ・ 県や市町村、あるいは受託事業者との会合にオブザーバー参加できたならば、臨場感や関係各位の熱量が肌で感じられ良い機会となっていたと想像する。
- ・ モニターに参加の皆さんと話す（交流）機会が少なかったなので、個人費用での懇親会などがあれば、参加の皆さんと一緒に活動、交流できた内容もあるかと思う。  
（モニターに応募した方々は、比較的同じベクトルを持っていると思うので、個別の独自活動に共感して手伝える機会があったのではないかと）
- ・ 何人モニターの方が居たかは知りませんが、一度も参加していない人もいないか、募集条件に参加出来る人にしたらどうか。
- ・ 下刈りや枝払い。
- ・ 下刈りや松林の清掃ボランティア活動。自然の中で汗をかく事が出来る喜びと、おいしい空気が吸うことができる。
- ・ 言葉だけでは分からなかったり、覚えていられなかったりするので、体験で感じられる現地見学会が良かった。もっと現地見学会に参加したかった。

- ・ 参加しやすいよう日程、時間を検討してほしい。
- ・ 会議には仕事の都合で参加できなかった。1 回だけだったので、もう 1 回くらい開催してもらいたかった。
- ・ 去年は、岩手と蔵王の見学会があったが、今年は、宮城の 1 回だけだった。もう 1 回、開催してほしい。また、その見学会で、少し時間に余裕があったので、もっと、職員からの説明の時間等、入れて欲しかった。
- ・ 宮城では、植樹に使用する道具などの説明があったが、そのように職員の方が利用している道具や、保護具などの話を伺いたかった。
- ・ 森林管理局の一般向けのイベントに参加できたらよかったと思っている。せっかく情報のお知らせがあるのだから活用すればよかった。
- ・ 会社勤めでしたので現地見学会は 1 度しか参加出来なかった。出来たら奉仕活動、植樹とかしたかった。
- ・ コロナが流行っていたり、日程が合わなくて現地見学会に参加出来ず残念だった。動画の利用もしてみたらどうか。
- ・ 個人情報の絡みもあると思うが、現場見学の際に名札に住所（市町村レベル）があると会話のきっかけとなると思う。モニター会議の際、ご近所さんがいてビックリしたが話が弾んだ。

#### (6) 国有林モニターになって良かったと思うことがあれば教えてください。

- ・ 各地の山を現地見学できたことが一番。
- ・ 昔、青森県へ衆議院の調査団が来たことがある。業者任せで、林道を左右 50 センチほど計画より広めに取り、立木を流用していたという疑惑だった。今回各現場に行き、自分なりに注意してみたが、不自然さはないと実感した。管理の目が行き届きにくい国有林野が合理的に行われていることが分かったことが、個人的な成果だった。
- ・ モニターになり、国有林について学習できたことが良かった。
- ・ 退職後で時間が出来たことも丁度良く、国有林に興味があり参加でき良かった。
- ・ 林野庁（森林管理局）の皆さんの活躍とモニターの方々とふれ合う機会を得たのは貴重な財産だと思っている。
- ・ 現地見学会に参加し知識を深めることができたこと。
- ・ 現地見学会はなかなかできない貴重な経験だった。
- ・ 木の苗を作り始めた（なら）。木の実から発芽させることに興味が出て、サクラを毎年数本出来るようになったこと。
- ・ 国有林の果たす役割を知ることができ、森林が身近になった。
- ・ 数年前、登山に興味をもち検索サイトで国有林モニターを知り参加させてもらったが、今後も登山を続けながら出来ることを考えるきっかけになった。
- ・ 林野庁の取組と国有林の働きや自然との共生について、知見を得ることができて良かった。
- ・ 出不精を克服するきっかけになった。それと、国の役所の人たちを、身近に感じたことが一番大きいかもしれない。もちろん「仕事なので」という結論になると思うが、そういう感じを一切出さずとていねいに、親近感を持って対応してくれたと思う。
- ・ 現場見学ができたこと、いろいろな方と知り合えたこと。
- ・ 国有林について身近に感じ、また、以前よりもっと木材そのものを好きになるこ

- とができた。自分も国有林の素晴らしさ、尊さを誰かに伝えていきたいと思う。
- ・ 国有林への知識が深まった事。木材の素晴らしさを再認識した事。現地見学会がよかった。自身の足で歩き、見て、国有林の一部ではあるが実態を知る事が出来た。
  - ・ まさに生涯学習、初めて見聞きする事柄の連続だった。
  - ・ 時折目にする治山工事など何気ない光景だったが、モニターになってから目的などを理解していたので見る目が異なり、妻などに説明したりできるようになった。
  - ・ 植樹したり、ロープウェイで山頂へ登ったりと楽しい経験ばかりだった。遠くても行って良かった。
  - ・ 幅広く国有林の知識を得ることができたが、一部理解が難しい面もあった。
  - ・ 毎月資料を送ってもらい、国有林への取り組みや現在の林業を知ることが出来た。
  - ・ 自然相手の大変な仕事と思うが、美しい風景をつくっていくという使命感を各森林管理署で感じました。
  - ・ 植林を初めて行った。松枯れやアオモリトドマツなど知らない事を知り、国有林について少し知る機会となった。森林の現状、現地見学で実際に見て感じる事は一緒にモニター参加した方々は心に残っていると感じた。
  - ・ 森林事業に多少とも興味関心を持った。
  - ・ 各県の方と親しく話が出来た。(日常生活や山の事等)
  - ・ 国有林で今何が起きているのかが知れた事、現地見学会で見た蔵王のオオシラビソの現状、また東松島での植栽が大変興味深かった。
  - ・ 蔵王の樹氷林の被害の実態と、回復に向けた取組内容を直接見聞きしたのは、非常に貴重な体験だった。
  - ・ 身近な方々に教えてあげられる事があった。
  - ・ 里山を中心に、植物を見るために、山形県内を歩いているが、森林の役割について興味を抱くようになった。
  - ・ 樹木以外に、虫や、動物の被害について学べたことはとても貴重で、モニターの資料を見た知識を、知人と話題にすることもあった。
  - ・ またモニターをやってみたいと思っている。
  - ・ 見過ごしている話題や情報が集約されて、モニター情報として取り入れられたこと。現地見学会は生きた勉強会だった。
  - ・ 以前より国有林の保全管理等に関心を持つようになった。
  - ・ まったくのド素人だったので、山の事、国有林のこと、林業のこと、いろんな事が知れて良かった。
  - ・ 山は放置されているのではないかと思っていたが、様々な取組みや活動が行われ、日本の山を守っていこうと努力していることを理解することができ、山を見る見方が変わった。

**(7) 国有林モニター終了後、国有林、森林・林業、木材利用等とどのように関わっていきたいですか。**

- ・ 知識を深め、技術も学びたい。
- ・ 毎回メールで送付される資料を読む癖が付いた。身近な情報に耳を傾け、後輩のモニター諸君に頑張れよとってあげたい。
- ・ 再生活動イベント等積極的に参加し、家庭菜園や花壇づくりをして CO2 削減に努めたい。



- ・ 健康で体力の続くかぎり、何らかのかたちで、仕事を出来ればと考えている。これまでの仕事を生かしつつ、新しい分野での仕事につければと考えている。もし機会があれば、中途半端なボランティアではなく、きちんと責任をもって対応できることを前提に、少しでも、森林整備、保護、教育の分野において、貢献できればと考える。
- ・ 所有している山への植樹。
- ・ もっと森林を歩いたりして、木に親しみたいと思う。
- ・ 木を売りたいと思う。
- ・ 国有林に関心を持って、自分でできることに取組みたい。
- ・ 身近なものとして出来る事をやって行きたい。
- ・ 国有林地には、レクリエーション目的で、足を運んでみようと思う。民地の間伐ボランティアをやっている団体などにも参加して、森林整備を試みたい。
- ・ イベントに積極的に参加して行きたい。
- ・ これまで以上に国の施策について意見を持つようにしていきたいと思う。
- ・ 子どもたちや成人による現場見学を行いたいと思った。人により向き不向きがあるので、いろいろな現場を見てもらい、生涯学習や雇用の場創出と結び付けていきたいと思った。
- ・ 木材も限りある資源であり、大切に使用していきたいと思った。また、すぐには思いつかないが、これからもいろいろな形で国有林との関わりを続けていきたい。
- ・ 森林を守って行く事は、国土を守って行く事、すなわち自分達の生活を守って行く事と感じた。近年の気候変動により、災害がいつ起こってもおかしくない昨今だが、自身も、大切な森林（自然）を守る為に、いつも国有林を含めた自然環境保護に関心を持って行きたいと思った。
- ・ 森林インストラクター講習を受講予定。また、ボランティア情報も定期的にチェックし国有林を身近に感じる距離感を大切に過ごしたいと考えている。
- ・ 山の荒廃、山の再生、自然災害の増加、林業従事者の減少など問題山積だが、多少の林業従事に携わっているので、できる範囲で尽力していきたい。また、手入れのできない山林はもっと増加していくと考えているので、人が管理できる最低限の範囲は守って、できない範囲は数百年かけて原生林になっていくのを見守って行きたいと思う。
- ・ 参加出来る場面があれば、又、国有林に関する行事に参加したい。
- ・ 木材や木材加工品を積極的に利用して、林業を支えていきたい。
- ・ 小さな子供たちを山や森、レクリエーションの森などに連れ出して山で遊ぶことを教えたい。
- ・ 環境に目を向け、自然を守り、人間と共存できるよう見守って行きたい。家を修理や建てる時は、木材を選び、森林を活用できるよう協力したい。
- ・ NPO や自治体が開催するイベント等に積極的に参加し、その知見を高めて行きたいと思う。
- ・ 私有林の管理に有効な手だてを模索したい。
- ・ 山の春、夏、秋の変化に興味深く散策して自然と触れ合う事に多くの時間を持ちたいと思う。また、体力があれば、多くの山を登山してみたい。
- ・ 元々木製品が好きでしたが、みなさんの大変な作業や維持管理があつての森林なのだというのが良く分かった。これからも私達の生活に森林は繋がっている事を忘れずに、また国産の木材の端材や間伐材等を活用した製品等を生活で利用出来

たら良いなと思う。

- ・ 人の生活に有益な森林資源・環境を国として保全していく必要があり、今後も関心を持ち続けたい。
- ・ 廃材を利用したり、木製品についても取り入れたい。また、個人で参加できる森林保護活動に参加したい。
- ・ これからも知り得た知識に興味をなくすことなく、新聞やネット情報で取り入れていこうと思う。
- ・ 森林を愛する東北5県のモニターの方々とも少し交流が出来て楽しかったが、せっかくの機会なので、その方達と再び交流出来たら良いと思う。モニターOB・OG会的なものを作っても良いのではないか。山形県新庄市には、今春4月、東北農林専門職大学が開校するので、林業の未来を担う若者の育成のため、私も尽力していきたいと思う。
- ・ 私は山が大好きで緑が好きでモニターになったので、自然をなるべく壊さない様に生活したい。もしこの先家を建てることがあったら木のお家で。
- ・ 近くの高田松原の松が、せっかく植えて成長してきたのに、クズのツルにやられ枯れかかっている。ボランティアの募集があったら草刈りに参加したい。木の実を使ったリースを作っているので、子供たちに教えたり、展示したりして森の恵みの素晴らしさを伝えていきたい。森林に関する情報にアンテナを高くし、今後の展開に関心を持ち続けたい。